

## 山田地区の意見概要

### ごみ減量について

- 雑紙を可燃物から分別、プラスチックの分別の強化等、分別をより細かく厳しくすることが、ごみ減量につながる。
- 雑紙、プラスチックごみの指定袋を作ることにより、住民に対するごみ減量の意識づけにつながるのではないかと。
- 生ごみのコンポスト化を普及・促進することで、ごみ減量につながる。
- 分別やごみステーションまで持っていくことが難しいごみ出し困難者への対応が必要である。
- 学校で分別に関する教育を行い、子どもたちに家庭へ持ち帰ってもらうなど、学校から家庭への流れを作ることが効果的。家庭での分別意識向上につながると期待される。
- プラスチックなどごみを収集した後、どうなるのかを情報提供する。
- 分別のパンフレットの分別方法を分かりやすく具体的に記載してほしい。広報の“ごみのことかんガエル”が見つらいので、分かりやすくしてほしい。
- 家族の分別意識向上のために広報が重要である。
- 分別に取り組んだ成果についての情報を提供することでやる気がアップする。
- ポイ捨て禁止に関する条例を作る。

### 自然環境について

- 道路にはみ出した樹木の枝を伐採する活動が必要である。
- 観光のまちであるが、環境がよくないと感じている。
- 農地保全のためにはコミュニティが重要である。
- 府馬のまちづくり協議会では草刈りなどを行っている。
- 交通量がありごみ拾いが困難な道路がある。道路管理者の草刈りにあわせてごみ拾いを行いたい。市には道路管理者に住民の要望を伝えてもらい、草刈りに合わせたごみ拾いを可能にしてほしい。
- 少子・高齢化により土地や山林の管理が困難となっている。
- 農地の荒廃により、イノシシなどによる被害が増加している。
- 歩道の草刈りについて、通学路になっているところは小学生の家庭向けに協力を呼びかけている。
- 道路の景観がよくない。

### その他

- 再生土の埋め立てについて、有害物質が含まれているのではないかと不安に感じている。また、搬入時間を規制する等の対応が必要である。また、埋め立ての面積が3,000平米以上の場合においても条例の対象としてほしい。
- 廃校を宿泊施設に活用し、担い手がなくなった農地を活用する等、グリーンツーリズムの導入がよい方法ではないかと。
- 情報提供は住民が集まる場所で行うことが効果的である。
- 地域の人材バンクのようなものがあるとよい。
- 市に迅速な対応ができる部所を設置する。
- 環境を保全するためには個人や地域が主体となって取り組むことが重要である。